

みずほまちなか会議実施概要

日 時	平成29年1月25日(水) 午後7時から午後9時10分 26日(木) 午後7時から午後9時05分			
場 所	25日：町民会館第2会議室 26日：長岡コミュニティセンター			
出席者	<議員（総務産業建設委員会）> 森 亘、古宮郁夫、近藤 浩、小川龍美 高水永雄、石川 修、原 隆夫、山崎 栄 <司会者> 中村 健（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）			
参加人数	合計54名（町内49名、町外5名）			
テーマ	地域コミュニティを考える ～町内会・子ども会などの地域活性化について～			
手法	参加者及び議員がグループに分かれ、上記テーマについての問題点や課題又は良い点などを抽出し、解決策を見出し、最後に発表を行いました。			
グループワーク報告（抜粋）	現状	課題	地域が活性化することによるメリット	
	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会・子ども会とも役員となり手不足。PTAも同様。 ・役員決めが大変。 ・高齢化による脱会など会員数が減少。 ・子どもが少なく組織できない。 ・イベント参加メンバーが固定化している。 ・若い世帯、女性の参加者が少ない。 ・町内会費子ども会費の合算額が負担で脱会した方がいる。 ・町民運動会の選手集めが大変。 ・夫婦共働きで活動に参加するのは難しい。 ・働いている方が多く、連絡が取れない。 ・会長・役員が忙しすぎる。本業との調整が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りなどでの夫人の負担を減らしていくこと。 ・子ども会などに関し親の理解を深めてもらうこと。 ・公職の多くを町内会長が担わなくてもよくしていくこと。 ・地域芸能の発表の場を増やすこと。 ・入会のメリットを増やすこと。 ・運営費用不足の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・頼れる人、知り合いができる。 ・行事などで仲間と会える。 ・地域とのつながりができる。 ・高齢者が元気になる。 ・町に興味を持つ。 	解決策
			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロンなどのコミュニティが必要。 ・行政が町内会の在り方についてガイドラインを策定してはどうか。 ・子ども会の育成に向けて必要施設をつくる。 ・町内会の掲示板をもっと増やす。 ・町内会の行事数を減らす。 ・準会員として加入してもらい、役員や会費は免除する。 ・高齢者の役員を免除する。 ・役員の任期を短くする。 ・町内会のサポートとしてシルバー人材センターを活用する。 ・子ども会については、行政の関わりを増やす。 	